

回 覧

令和元年度「自主防災グループ」総会 報告

天嶽院下自治会

日 時 : 2019 年 [令和元年] 5 月 26 日(日) 13:30~15:30
場 所 : 村岡市民の家
出席者 : 自治会役員 : 大森会長、山本副会長、坂本副会長、橘書記
中川防災防犯部長、三浦防災防犯副部長
自治会OB : 島田氏(世話人)、石垣氏(世話人)、
服部前防災防犯副部長
民生委員 : 川口民生委員、小南民生委員、土屋民生委員
地域団体 : 高部公園愛護会長、満田ラジオ体操会代表、
竹内子ども会会長 計 15 名出席

<配布資料>

- ① 天嶽院下自主防災会」規約(案)
- ② 自主防災会 運用規則(案)
- ③ 嶽院下自治会 避難支援規程(案)
- ④ 令和元年度 天嶽院下 自主防災体制(案)
- ⑤ 令和元年度 防災活動年間計画(案)
- ⑥ 村岡災害ボランティアコーディネーター会の紹介
村岡地区災害ボランティアコーディネーターの活動位置

<議事>*以下本文中の敬称は省略

1. 会長挨拶、参加者紹介
2. 平成 30 年度活動報告
→防災訓練の安否確認数は、事前告知の効果もあり、50%超と大幅に増加した。
3. 自主防災会規約&運用規則の内容確認
→現状の実態に合わせて、修正が必要となった箇所を改訂(全て word 化)。
(主な意見と討議内容)
 - ・市で調査した要支援者リストの今年度版を貰っているが、例年活用方法が課題となっています。今年度は、まず自治会の会員名簿に、要支援者の有無や各要支援のレベルの色分け等の明示を考えています。さらに民生委員の方々とも、支援について連携して行きたいと思います。(大森)
 - ・災害時に要支援者リストの活用は重要な課題です。(満田)
 - ・リストに拘らず、実際の災害時では、まず自身の安全を確保し(自助)、その上で互いに助け合うこと(共助)が大切。その際に、安否確認が重要です。
→助け合うには、日ごろからの隣近所付き合いが必要と思います。(大森)
 - ・近隣防災ボランティアは、2017 年度に更新したが、年々人数が減っています。

3年ごとに更新を行っており、2020年度に向けて今年度中に再募集を行う予定なので、よろしく願いしたい。(大森)

4. 令和元年度 天嶽院下 自主防災体制（案）について

- ・特段の意見は無く、了承。

メンバーは、自主防災会の規約に則り、昨年度の役員と今年度の役員をメインに、各協力団体との連携により、組織化した。

5. 令和元年度 防災年間活動計画（案）（資料⑤）

- ・特段の意見は無く、了承。

6. その他

＜村岡災害支援ボランティアコーディネーター＞に関して

- ・コーディネーターは、災害時にボランティア派遣の依頼や受入れ等に対応することが、主な役割です。入門（12月予定）、及び初級（来年2月予定）の各講座の受講者増に協力をお願いしたい。(大森)

＜防災倉庫の追加設置案について検討＞に関して

- ・御幣下公園の防災倉庫は満杯状態のため、新たに赤坂児童公園内へ防災倉庫を設けることを検討しています。(大森)

→赤坂児童公園の公園愛護会倉庫の隣へ設置するなら、一日陽が当たる箇所なので、倉庫に入れる物品等、考慮が必要です。(高部)

考慮します。(大森)

7. その他意見等

- ・防災無線で必要な情報が入らないことがあります。(高部)

→必要な情報について再検討します。また防災ラジオの購入や、「レディオ湘南 83.1MHz」等、他にも情報を得る方法がありますので、周知が必要と考えています。(大森)

- ・今の防災倉庫にある器材では、担架は1つしか無いので、災害時に対応出来ますか。(満田)

→今回の倉庫の増設に合わせ、機材や備品の不足は改善していく予定です。

担架については、物干し竿と毛布で担架が作れる等、身の回りの物で代用出来る方法もあるなど、自治会内への情報展開も考えていきます。(大森)

- ・自治会でお願いした世帯へ置かせて頂いている防災庫は、中身の点検が必要との意見があり、今年度の活動に加えることにしました。

- ・子ども会には、防災訓練への親子での参加をお願いしたい。(大森)

→7月27日（土）午前を予定しており、別途詳細な訓練案内を回覧します。

以上